

令和4年度 学校評価 生徒・保護者アンケート結果（12月実施）について

1 学校評価について

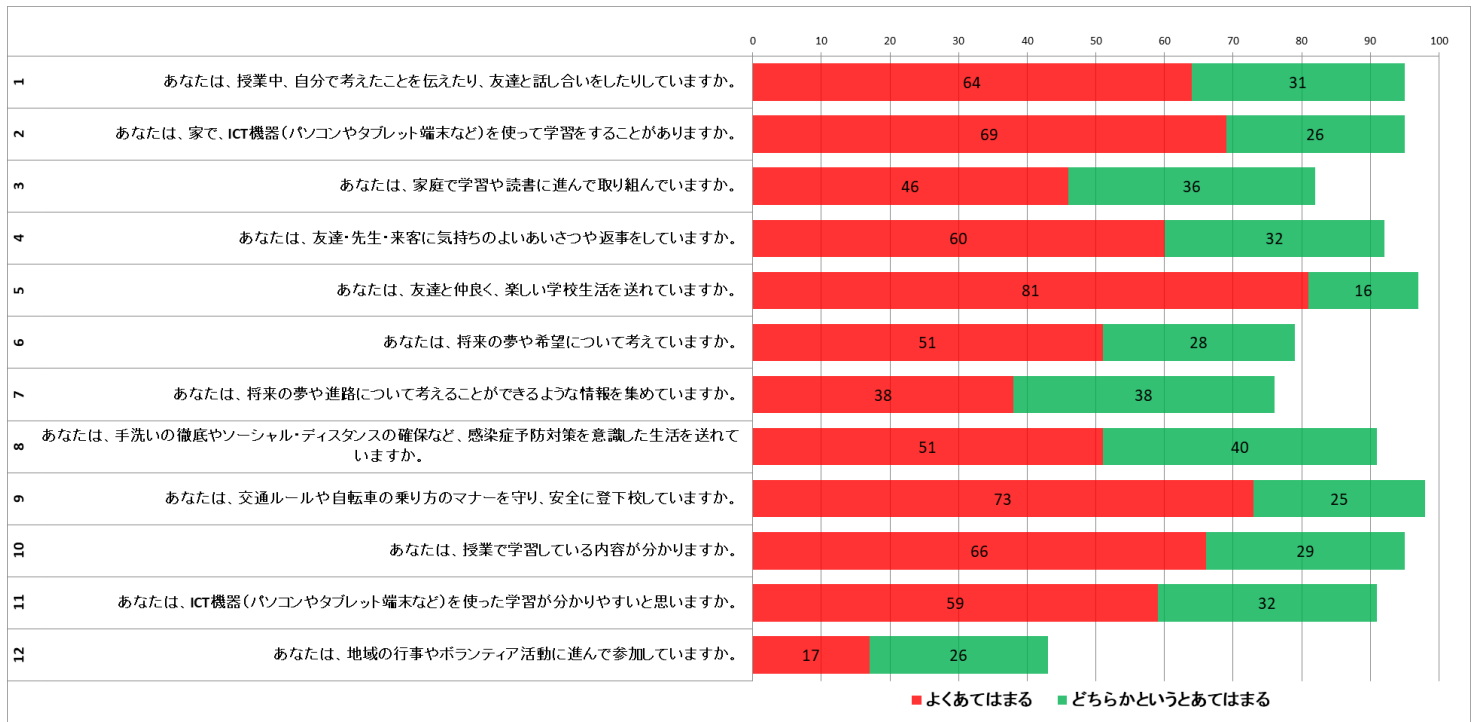
本校では、次のように学校評価を実施しています。

- (1) 生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。
- (2) アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教職員による自己評価を行う。
- (3) 学校関係者評価や自己評価の分析から明らかになった課題を基に、改善に向けた活動を行う。

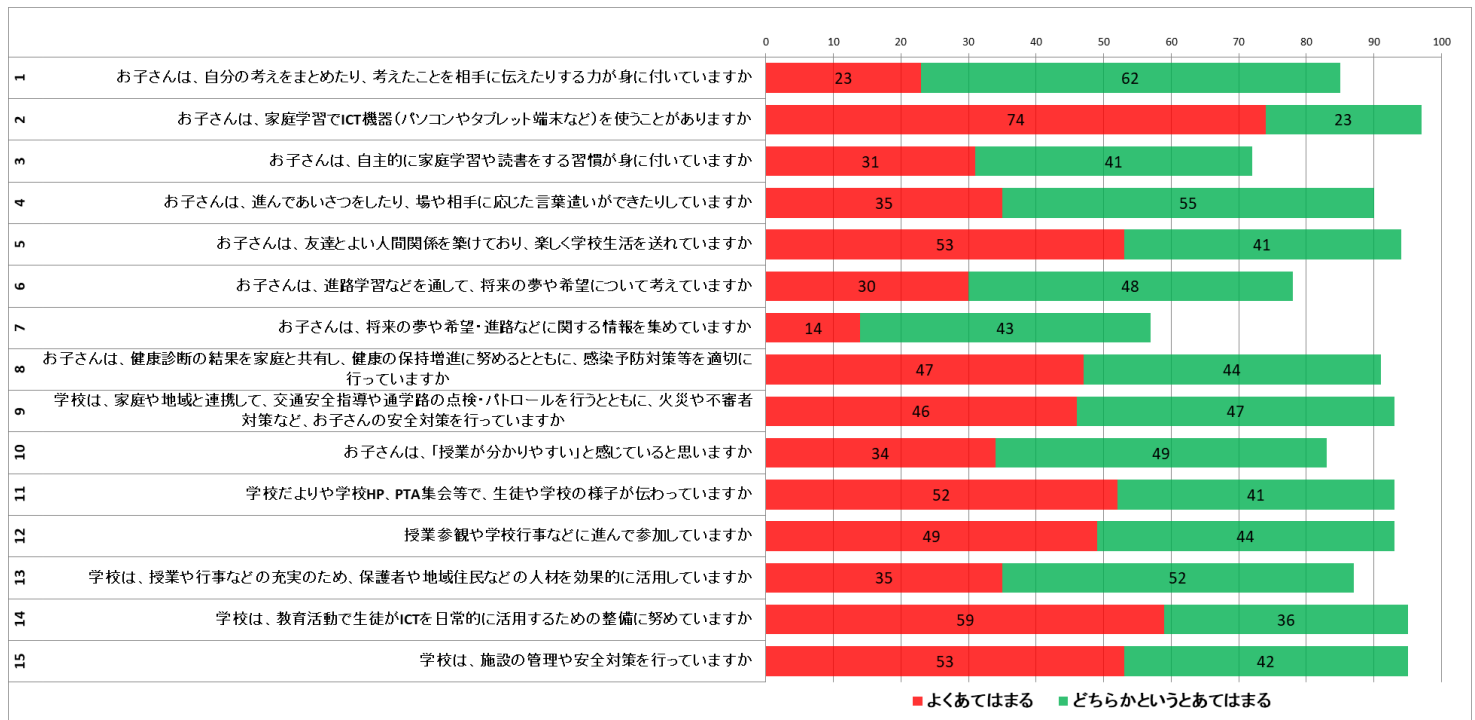
2 資料の見方

- (1) グラフの資料は、アンケートの回答の「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」・「どちらかというにあてはまらない」・「まったくあてはまらない」「わからない」のうち、「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計の割合をまとめたものです。
- (2) 「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計割合の変容が見られた項目について、<生徒>と<保護者>に分け、第1回からの変化や改善に向けての方針、ご協力をお願いなどについてまとめています。

令和4年度第2回学校評価アンケート<生徒>12月実施



令和4年度第2回学校評価アンケート<保護者>12月実施



「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計割合の変容が見られた項目
(第1回→第2回)

<生徒><保護者>

質問番号7「あなたは、将来の夢や進路について考えることができるような情報を集めていますか」73%→76%

質問番号7「お子さんは、将来の夢や希望・進路などに関する情報を集めていますか」52%→57%

→第1回のアンケートと比較すると、生徒では3ポイント保護者では5ポイント上昇しました。3年生は受験期になり進路への関心が高まったり、総合的な学習の時間「未来創造科」で自分の生き方を見つめる学習を行ったりして進路に対する意識が高まったためと考えられます。また、「キャリア・パスポート」を活用した学級活動を行い、自己理解を深めながら自らの希望や思いに沿って将来を考えていく場面を設定したことも要因だと思われます。生徒が自分自身を理解しながら将来を主体的に選択できるよう、今後も学校ではキャリア教育を推進します。PTA集会や三者（二者）面談等の機会を通して、保護者の皆さまにも進路に関する適切な情報提供を行いますので、お子さんのキャリア教育の推進に引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

<保護者>

質問番号1「お子さんは、自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力が身に付いていますか」82%→85%

→第1回のアンケートと比較すると、3ポイント上昇しました。今年度は本校の総合的な学習の時間「未来創造科」を中心に、生徒が探究的な学習により主体的・協働的に取り組むことができるよう指導を行っています。個人やグループで設定した課題について、資料をまとめたり何度も発表したりと自分たちで探究していく場を設定したことで、考えたことを相手に伝える力が高まったためと考えられます。また、各授業で効率的かつ効果的にICTを活用したことで、自分の考えをまとめたり友達と意見を伝え合ったりする活動を充実させることができました。その結果「友達の意見などを基に自分の考えをよりよいものに変えていけることができるようになった」と感じている生徒が増え、自分の考えに自信をもち発表している生徒の姿が多く見られました。自分の考えをまとめたり、それを他者に伝えたりする力は、これからの時代を生きる生徒にとって重要な力となります。今後も本校教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。